

No.	16-5-1	場所	豊丘村神稲	次世代への継承キーワード 情報伝達網整備 / 広域連携 / 地域コミュニティ	
名称	虻川橋手前の、河岸侵食による陥没			河川	虻川
災害現象	橋梁の被災			支流	
補足事項					

概要

本来は梅雨の盛りのはずだが、田植えどころか水田の代かきもできないほど、春先からの少雨で水枯れの状態が続いた1961年（昭和36年）6月。ところが、23日夜から降り出した雨は「お湿り」どころか徐々に勢いを増し、下伊那郡豊丘村でも雨水を吸い込んだ山肌の土砂が部分的に大きな被害をもたらした。

中でも、県道伊那生田飯田線から4キロほど東側の山あいにあった河野地区の二丁集落では、27日午後の山崩れをきっかけに電灯が消え、村からの情報も途絶えた。土砂交じりで濁流と化した間沢川は、一晩の間に農地を根こそぎ飲み込み、川べりの幹線道路を全てえぐり取ってしまった。

●体験談：△△

通信連絡は途絶え、二十七日の夜の北入部落は全くの孤立の状態にあった。虻川の激流は堤防を越えて氾濫状態となり、虻箆を積み重ね各戸より持ち出してくれた畳を継ぎ合わせて虻箆を補強、部落一丸となって防災に寝食を忘れて、洪水との戦いに明けくれた。

（「豊丘村 三六災害」より）

記録



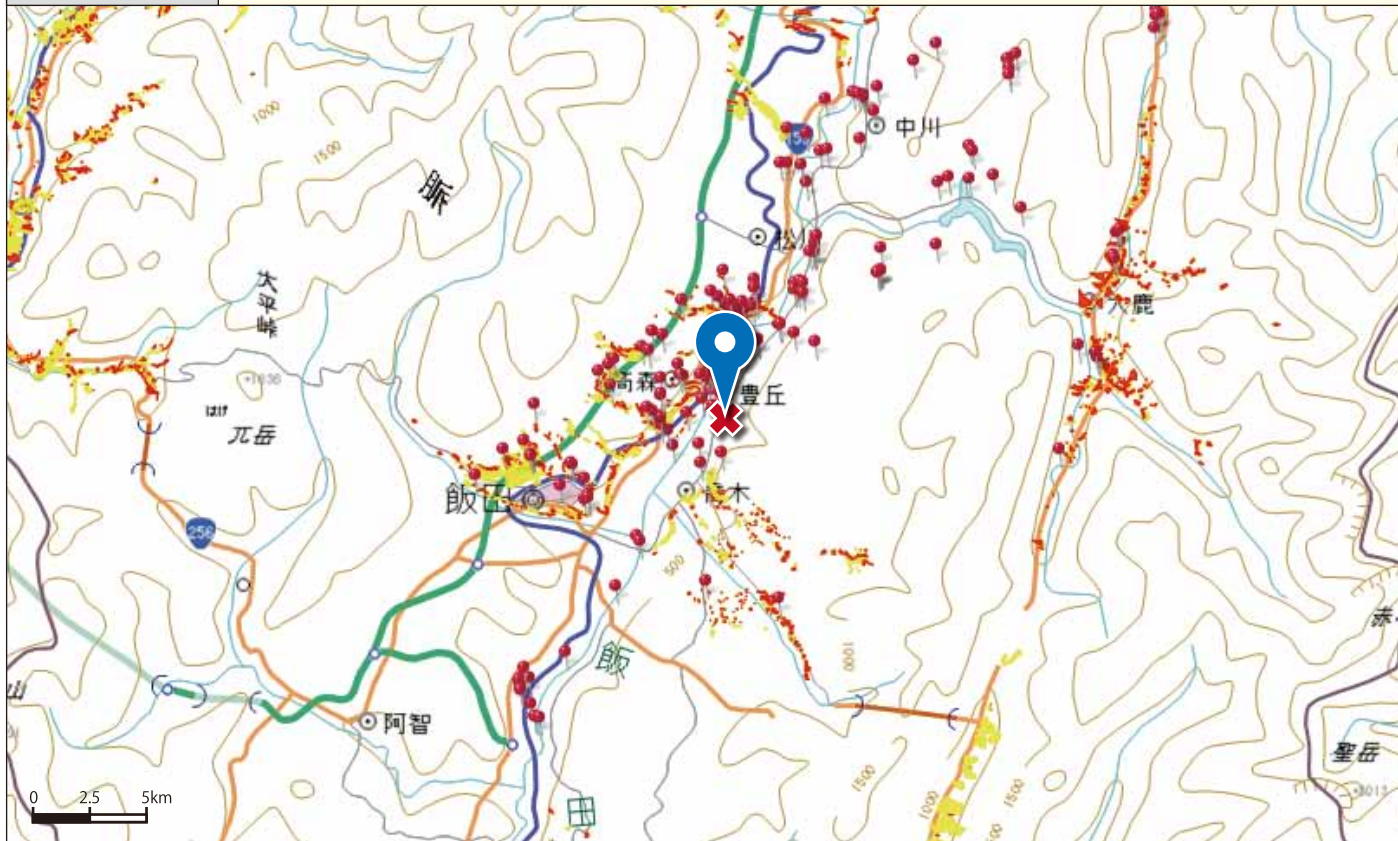
虻川橋手前の、河岸侵食による陥没

出典	「豊丘村 三六災害」p.104				
備考					

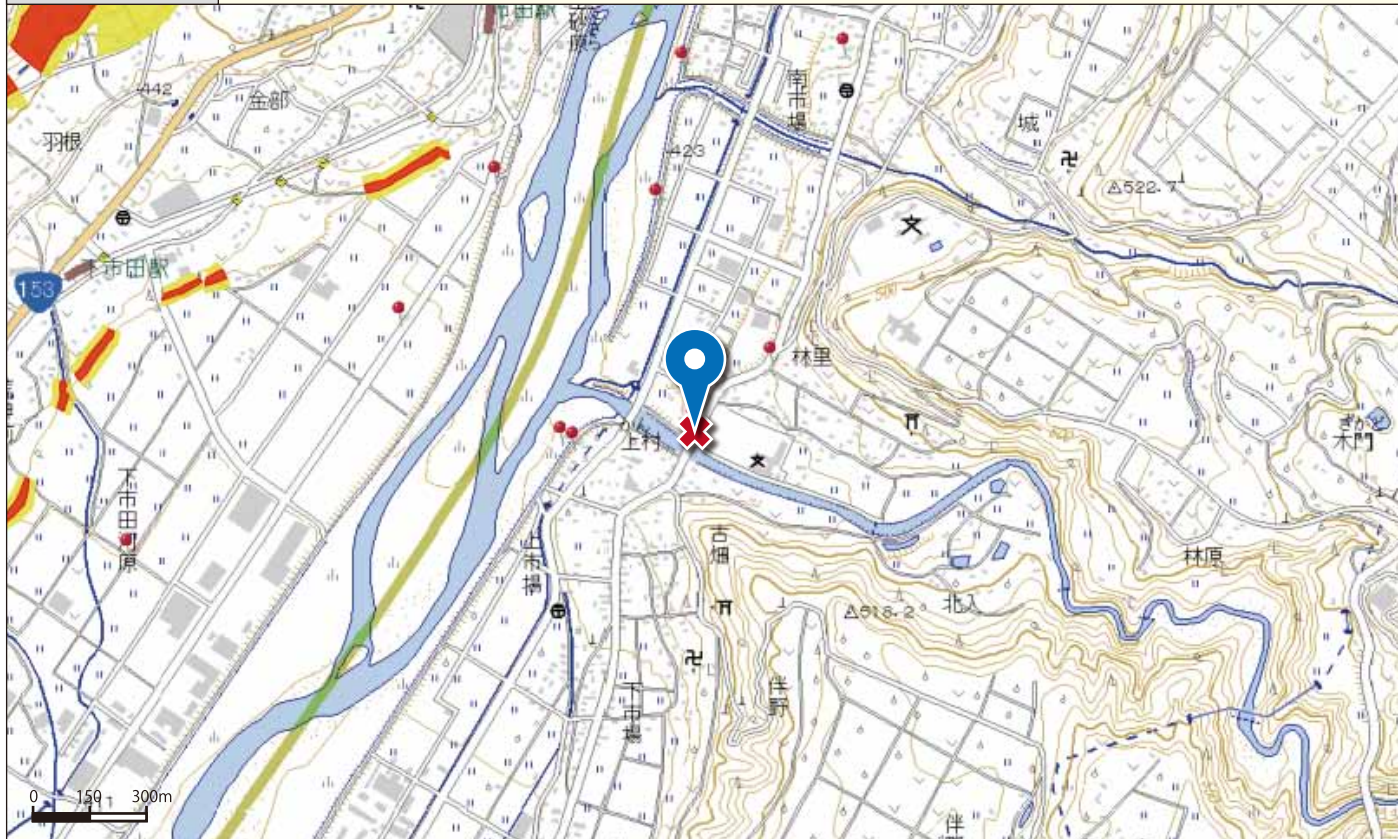
No.	16-5-1	場所	豊丘村神稲	緯度	35.54092
-----	--------	----	-------	----	----------

名称	虻川橋手前の、河岸侵食による陥没	経度	137.891678
----	------------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---